

令和元年度（第2ターム）大学院課程「学生による授業改善アンケート」実施要綱

1. 実施目的

広島大学は、学生に充実した教育を施すことを重要な使命としている。大学院教育の質を確保するためには、計画(PLAN)、実施(DO)、評価(CHECK)、改善(ACTION)を繰り返すPDCAサイクルを有効に機能させることが重要である。「学生による授業改善アンケート」は、このPDCAサイクルの中の「CHECK」機能の一部として位置づけられるものである。教員は、それぞれ授業の工夫をし、その効果をさらに高めるためには、学生がその授業をどのように捉えているかの実態を把握することが重要になる。そのため、授業を実際に受けた学生からの意見に耳を傾け、授業の改善に役立てることが必要になる。本学では、授業についての各教育組織と各担当教員の認識を高め、カリキュラムや授業方法等の改善に資するために、「学生による授業改善アンケート」を実施する。

2. 実施主体

教育本部教育質保証委員会（以下「委員会」という）が実施する。

3. 実施方法及び実施手順

「学生情報の森 もみじ」のアンケート機能を使用して実施する。

なお、実施内容は、①教員や部局による追加質問項目の設定、②学生の回答、③教員のコメント入力、④結果の公表とする。

4. 実施対象科目

- (1) 第2タームに開講された大学院課程教育科目の全科目において実施する。
- (2) 客員教授、客員准教授、客員講師が担当する授業においても授業改善アンケートを実施する。
- (3) 第2タームのアンケート回答期間終了後に開講される集中講義（授業）は、第3タームのアンケートとあわせて実施する。

5. 実施時期

学生のアンケート回答期間は、令和元年7月22日（月）～令和元年8月11日（日）とする。

6. 調査項目

調査項目は委員会が策定したものを基本とし、各部局、各授業で追加質問項目を策定可能とする。

7. 対象学生

- (1) 令和元年度第2タームに在籍する学生を対象とする。

8. 結果の集計・公表等

- (1) 科目別、教育組織（専攻等）別、部局別及び全学平均の集計結果を「学生情報の森 もみじ」において公表する。なお、公表開始日は、令和元年9月2日（月）とする。
- (2) 自由記述欄に書かれている意見は、担当教員を除き公表しない。

- (3) 担当教員は、学生アンケートに対する回答や意見をコメントとして「学生情報の森 もみじ」に記載する。コメント入力期間は、令和元年8月12日（月）～令和元年9月1日（日）とする。

9. 未回答者への督促

アンケートの回答率を上げるために、アンケートの回答期間内に、未回答者（未回答科目が2科目以上かつ回答率が50%未満の者）に対して督促メールを複数回送信し、回答を促す。なお、督促は未回答者を特定することが目的ではない。授業担当者には、誰が回答し、誰が回答していないのかについての情報は一切提供しない。

10. その他

- (1) 当アンケートは、本学が開講している授業の優れた点、問題点、改善すべき事項等について学生の意見や意識等を把握し、カリキュラムや授業方法等の改善に資することを目的としているため、他の目的には利用しない。
- (2) チューターや指導教員は「学生情報の森 もみじ」により学生の回答状況を把握し、アンケートに回答するように指導する。
- (3) この要綱に定めるもののほか、アンケート調査実施について必要な事項は、委員会が別に定める。